

この国を
「戦争する国」に
させません!

2000万人統一署名で 戦争法廃止!

3月29日午前0時、国民の反対の声を押し切って、安保関連法＝戦争法が施行されました。その日、3万7000人が国会前に集まり、深夜まで「戦争法の施行はやめよ!」「安倍内閣はただちに退陣!」と声を上げました。また、全国各地でも「許せない!」と抗議行動がおこなわれました。戦争法廃止を求める国民の声は、おさまりません。

戦争法施行で、「殺し、殺される」危険

戦争法の施行により、「殺し、殺される」現実の危険が、差し迫ったものになっています。戦闘が続く南スーダンの国連PKO部隊に、戦争法で認められた「駆けつけ警護」や「安全確保業務」を付与すれば、自衛隊がたちまち戦闘にまきこまれ、現地の少年兵を射殺してしまう危険も生まれます。アメリカなどがおこなう「IS」への空爆を後方支援すれば、日本がテロの標的となってしまいます。

憲法違反の戦争法は廃止しかない

戦争法は、憲法九条を踏み破り、日本が攻撃されてもいないのに、世界のどこでもアメリカの戦争に参戦するための法律です。自衛隊が創設されて以来、一人の戦死者も出さず、一人の外国人も殺さなかった戦後日本のあり方を根本的に変える法律です。こんな憲法違反の戦争法は発動させてはなりません。いのちを奪い、子どもの未来を奪う戦争法は廃止しかありません。



国会でも選挙協力でも、野党共闘すすむ

「戦争法廃止を求める2000万人統一署名」に寄せられた「戦争はいやだ」「憲法守れ」の声が、野党を励まし、野党の共闘を実現しました。2月19日には、とうとう野党5党が共同して「戦争法廃止法案」を国会に提出しました。ところが自民党・公明党は、その審議を拒否しています。安倍首相は、自身の言明どおりに「(成立後も)丁寧な説明に努める」べきです。

「戦争する国」への道＝憲法改悪 反対!

70年前、日本は、憲法九条で、二度と戦争しない、交戦権は認めない、戦力はもたないと誓いました。人間の尊厳を大切に、戦争につながる動きを否定しようと誓いました。安倍首相は、その憲法を変えて、日本を「戦争する国」にしようとしています。この国が、再びあやまちをくり返さないように、力を合わせましょう。子どもの未来を守るために、2000万人統一署名に、思いを集めましょう。